

令和 7 年度 県立下妻第一高等学校附属中学校自己評価表

目指す学校像	<p>【学校教育目標】 グローバルで活躍できる「アントレプレナーシップ」をもった生徒の育成</p> <p>【目指す学校像】 主体性をもって様々なことに挑戦でき、自己の可能性を広げられる学校</p> <p>【育てたい生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい未来の創造に向かって主体的に挑戦し、心身ともにたくましく成長する生徒 ○ どんな状況にも柔軟に対応できる汎用能力をもつ生徒 ○ 多様性を尊重し、合意形成を図りながら、他者と対話し、協働できる生徒 ○ デジタルの効果的な活用をとおして、社会課題を自ら設定し、解決に向けて行動できる生徒 		
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>学習指導では、探究的な学びを基盤とした課題解決型授業を各教科で実践できている。また、少人数に分けた授業展開やチームティーチングによる授業を積極的に行い、きめ細やかな学習指導に努めている。ICT機器の活用では9割を超える生徒・保護者から「積極的に活用している」と回答が得られた。今後も相互授業参観の実施や課題解決型授業の研究と研修、教員間の情報交換、またはICT機器の効果的な活用方法を研究し、授業改善を図っていくことが必要である。また、「指導と評価の一体化」を目指した観点別評価規準と評価の手立てについても引き続き検討し、生徒の学びを最大限に引き出せるような授業改善を図っていききたい。</p> <p>生徒支援では、生徒一人一人が自分なりの目標をもち、高い自立心と正しい判断力のもと行動しようとする姿勢が見られる。また、規則正しい生活を送っており、元気な挨拶、正しい身なり、時間を守って行動するなどの基本的生活習慣が身に付いている。今後は、日ごろの生活において規範意識、モラル、マナーの理解を深め、それに基づいて生徒自らが考え行動し、社会生活に活かすベースを育てる機会をつくっていく。</p> <p>キャリア教育では、企業訪問等の校外学習、先</p>	<p>重点項目</p> <p>探究的な学びと個別最適な学習の充実</p> <p>基本的生活習慣の確立と自主的、自立的な態度の育成</p>	<p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒の「なぜ? どうして?」を授業のキーワードとした課題解決型授業を実践する。 ②少人数授業展開やTTによる授業を実践することで、個別最適できめ細やかな学習指導を行う。 ③1人1台端末やICT機器を効果的に活用することで、主体的・対話的で深い学びを実践する。 ④生徒の学びを最大限に支援し、生徒の学びを最大限に引き出すために、授業内評価、単元テストや小テスト、教科面談や級監面談を計画的に実施し、生徒の主体的に学習に取り組む態度の育成と学力の向上を図る。 ⑤「分からない」を大切に探究的な学びをとおして、教科横断的な学習ができる生徒を育てる。 ⑥挨拶や生活のきまり、礼儀やマナーについて学活等で適宜指導を行い、附属中生としての生活習慣の基礎を確立する。 ⑦各委員会活動や係活動を充実させ、生徒が主体的に取り組める行事等を企画し、自主的、自立的な態度を育成する。 ⑧生徒が主体的に取り組めるよう、課題解決型授業を積極的に実践していくとともに、生徒の実態に即した学習習慣のさらなる定着を図る。 ⑨探究活動および探究プロジェクト関連行事等とおして、コミュニケーション力や実行力、発信力、創造力等豊かな人間性を育むとともに、課題解決に向け粘り強く物事に取り組む忍耐力や、その過程で経験する困難に遭遇しても自ら置かれた状況に適応することにより苦しみを克服することができる力（レジリエンス）といった精神的なたくましさも育む。 	<p>達成状況</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式2（中）

<p>輩講話やキャリア講演会、医学セミナー等、各分野のトップランナーから学んだり、探究活動において高校生、県内附属中生等と交流したりする、実践的・体験的活動の機会を十分に得ることができている。今後は、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて基盤となる基礎的・汎用的能力（人間関係形成能力、自己理解・自己管理能力、課題発見能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）を育むために、探究活動や学校行事、企業見学等校外学習等の体験活動に、系統性や一貫性をもたせていく必要がある。</p> <p>特別活動では、多くの生徒が自立心を持ち、主体的に活動に取り組むことができている。また、集団の一員としての自覚を持ち、協働で活動を行っている。今後は、ホームルーム活動、学校行事、部活動への参加等の活動をとおして、他者理解や協働性を高め、リーダーシップを育む必要がある。また、高校生との異年齢交流をとおして、社会性と集団の中での責任やマナーを養う場面を意図的に取り入れ、将来のキャリア形成に繋がるような指導を心がけていきたい。</p> <p>働き方改革では、昨年度の時間外在校時間の月平均時間は17時間57分、月平均45時間超過者の割合は11.4%である。限られた人数で校務全般を担っているため、一部の職員に業務が偏ってしまったり、各分掌間で連携が図れなかったりすることがある。今後は、教職員個々の働き方に対する意識改革に努め、スケジュール管理能力を高める必要がある。また、教職員全員が校務全般を自分事として捉え、お互いをフォローし合えるような組織体制を構築していく必要がある。</p>		⑩高校生等との異年齢交流を推進し、自立心とリーダー性を育てる。	A
	特別活動の充実	⑪給食指導や食育等をとおして、基本的な生活習慣と健康的な心身の育成に努める。	A
		⑫自ら考え、自ら行動する活動の充実を図る。	A
		⑬学校行事等をとおして、他者理解を深め、人間性や社会性の育成を図る。	A
		⑭クラス運営に必要な組織をつくり、適切な役割分担ができる活動の充実を図る。	A
		⑮積極的な生徒会活動、部活動への参加を促進する。	A
		⑯キャリア・パスポートの活用をとおして、小中高と継続的なキャリア形成を支援する。	B
	広報活動の推進と外部との連携	⑰体験活動や交流活動をとおして、自分の生き方について考える機会を設ける。	A
		⑱生徒の主体的な発信を掲載し、学校ホームページの充実を図る。	A
		⑲生徒中心による小中連携や中高連携、学校説明会や学校公開、公開授業等の内容を充実させる。	A
⑳下妻市役所や地元企業、大学等との連携をとおした学習活動を実施する。		A	
㉑高校との異年齢交流を推進する。		A	
㉒卒業生や地域の方々、外部機関との交流を図り、自分の生き方やキャリアについて考える力を養う。		B	
働き方改革の推進	㉓学校全体で、削減する業務を洗い出す機会を設定し、業務の適正化に努める。	A	
	㉔デジタル機器を効果的に活用し、情報共有の簡易化・効率化に努める。	A	
	㉕働き方改革推進委員会において、教職員が主体的に具体的な改革案を提案し、推進する。	A	
	㉖教職員個人のスケジュール管理能力を高め、業務の効率化を図る。	A	
キャリア教育の充実	㉗各種校外学習やセミナー等をとおして、自身の興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成を図る。	A	
	㉘探究学習や学校行事等をとおして、人間関係形成能力や自己管理能力、課題発見能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の涵養を図る。	A	
	㉙キャリア・パスポートを活用し、自己理解や自己受容の深化を図る。	A	

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

		授業改善と学習評価の充実	③計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究・実践し、教員間で情報交換することで授業改善を図る。	A	
			③他校視察や相互授業参観、または各種研修会へ積極的に参加することで授業改善を図る。	A	
			③生徒による「授業満足度」の平均値 3.2 以上を目指す。	A	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教科 国語	「話す・聞く」、「書く」、「読む」の基礎学力の充実・向上を図る。	日常生活や社会生活から課題を設定し、「ことば」を用いて課題解決を図ることができるような授業を実践し、基礎学力の充実・向上を図る。 ①②⑤	A	A	○「知識・技能」の観点における基礎学力のさらなる向上を図る。 ○生徒がより積極的に課題に取り組み、言葉についての考えを深められるよう、話し合い活動やグループ学習の形態を工夫する。
	学習形態を工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	学習活動に適した学習形態を導入し、知識・技能を活用できるような話し合い活動やグループ活動を行い、協働学習の中で思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ①②④	A		
	ICT 機器を活用し、学習指導の充実を図る。	1人1台端末を活用し、思考を「見える化」したり、個に応じた指導を行ったり、主体的な学びの推進を図る。 ③	B		
	各単元において、観点別評価の充実を図る。	生徒の資質能力を向上させることができるように、指導に生かす評価、記録に残す評価を組み合わせて単元を構成する。 ④⑩	A		
	学習指導方法や観点別評価方法を研究し、授業改善を図る。	計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究して実践することで、教員間で情報交換しながら、授業改善を図る。 ④⑩⑪	A		
社会	基礎学力の充実・向上を図る。	定期的に小テストや単元テストを実施し、知識・技能の定着度を確認し、指導に生かす評価を実践する。 ①④	A	A	○学習指導および学習評価について、次年度も継続して改善に努め、生徒の学力をさらに向上させたい。
	学習形態を工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	ペアワークやグループワークにおいて、話し合いや討論を行い、意見を交換することで客観性をもった思考力・判断力・表現力の向上を支援する。 ④	B		
	時代の変化に合わせ、授業改善を継続的に行う。	教科内や他教科、また他校へ授業参観を積極的に行い、指導法の工夫や生徒が興味をもつ教材の研究に努め、時代の変化に合わせた授業改善を図っていく。 ①⑤	B		
	ICT 機器を活用し、学習の充実と意欲の向上を図る。	教師・生徒が共に ICT 機器を効果的に活用することで、生徒の興味・関心を高め、探究的な学びに発展するよう心掛ける。また、グループでの話し合いや協働学習等のアクティブ・ラーニングを積極的に導入し、生徒の学習意欲を高める。 ①③⑤	A		
	多様な学びの環境を構築する。	プリントや地図、資料集、動画コンテンツなど、多様な教材を活用することで、生徒が自ら意欲的に授業に参加できる体制を整える。また、主体的・協働的で深い学びを実践し、生徒自ら考え、表現する授業を実施する。 ②③	A		
数学	基礎学力の定着と学習に対する自己調整力を高める。	TT による授業展開をすることで、個に応じたきめ細やかな学習指導を行う。 ②⑩	A	A	○予習がベースとなる授業を行っているため、家庭での学習習慣を確立させていく必要がある。 ○TT を継続し、つまづきのある生徒の早期発見、早期解決
	学習形態を工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	グループ学習の中で多様な考え方に触れ、自身の意見を発表したり、他者の思考に触れたりすることで、より深く学ぶ学習を実践する。 ④⑧⑩	A		
	ICT 機器を活用し、学習指導の充実を図る。	生徒用端末の活用方法を研究し、より協働的で探究的な学びとなるよう授業改善を行う。③	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

	課題解決型授業を実践し、協働的な学習活動を確立する。	分からない部分を明確にし、疑問点をもって授業に臨めるようにするために予習をする習慣を確立する。 ①⑤⑫	B		につなげていけるようにしたい。
		グループワークやグループディスカッションを積極的に行うことで、生徒どうしが教え合い、課題解決が図れるような授業スタイルを実践する。 ①⑤⑧⑫	A		
	ICT 機器を利用した個別最適化学習を図る。	授業への興味・関心を高め、より深い理解が得られるよう ICT 機器を積極的に授業で導入する。 ③	A		
		学習アプリや双方向ツールを利用することで、個別最適化学習を図る。 ③	A		
	授業改善を行うことで、学習指導方法や観点別評価方法を研究する。	計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究して実践することで、教員間で情報交換しながら、授業改善を図る。 ⑩⑪⑫	A		
		授業方法を研究し、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践できるような授業を展開する。 ①⑤	A		
理科	生徒の学習意欲を喚起する。	授業方法を研究し、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践できるような授業を展開する。 ①⑤	B	A	○生徒が効果的に ICT 機器を活用できるよう、指導方法の検討を図りたい。 ○実験・観察（動画視聴を含む）の機会を充実させ、さらなる学習内容の定着を図る。 ○生徒の実態に応じ、適切に学習内容の精選を図りたい。
		生徒用端末の活用方法を研究し、協働的・探究的な学びを促す学習指導を行う。 ③	B		
		授業では実験を実施し、実物に触れる機会を設け、生徒の興味・関心を高める。 ①②③	A		
	生徒の基礎学力の向上を図る。	ICT 機器を活用し、視覚的に理解しやすい授業を展開する。 ③	B		
		カリキュラムマネジメントの充実に努め、学習指導および学習評価の改善を図る。 ④	A		
		小テストや課題を適宜活用し、基礎学力の向上を図る。 ④⑤	A		
授業改善と学習評価を充実させる。	単元ごとに単元テストや授業に対する振り返り等を行い、知的達成度、授業満足度の向上を図る。また、中高の連携をより一層図り、授業改善に取り組む。 ⑩⑪⑫	A			
音楽	基礎的な学力の充実・向上を目指すとともに、学習意欲を高める授業展開の工夫を図る。	小テストや実技テストを実施し、知識・実技の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育てる授業を展開する。 ④	B	A	○生徒が ICT を活用し、授業に意欲的に取り組めるよう、指導の改善と工夫を図っていききたい。
		個に応じた指導の充実を図るとともに、個々の学習状況を細やかに見取りながら、課題解決につながる授業を実践する。 ①	A		
	授業改善を行うことで、協働的・探究的な学びと個別最適な授業の充実を図る。	ペアワークやグループ学習を通じて、表現する場や意見を発表する機会を増やし、生徒の学力向上と主体的に取り組む姿勢を育てるとともに課題解決型授業を実践する。 ①③⑧	B		
		ICT 機器を効果的に活用した授業を研究し、「分からない」を大切に協働的・探究的な学びにつながる授業展開を図る。 ③⑤	A		
	鑑賞能力の育成を目指す。	教科横断的な探究活動を軸におき、実技等の体験学習も含めて、様々な視点から音楽表現について考え、音楽の良さや美しさを味わうことができるようにする。 ⑤	A		
	美術	基礎学力の充実・向上を図る。	RPDCA サイクルを実践し、基本的な知識や技能の定着を図る。 ④		
個に応じた指導の充実を図り、個々の学習状況を細やかに見取りながら適切な評価に努める。 ②			B		
生徒の学習意欲を喚起する。		魅力ある題材や ICT を効果的に活用した授業を研究し、主体的で協働的・探究的な学びにつながる授業展開をする。 ③⑤	B		
芸術に親しみ、豊かな感性を育む。		教科横断的な学習を工夫し、芸術作品のよさや社会と美術の繋がりをより深く感じられるよう鑑賞学習を充実させ、表現の魅力や楽しさを伝える。 ⑤	B		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式2 (中)

	授業改善を行い、美術的素養をより身に付けることのできる学習を目指す。	教材内容を精選し、教師自らが授業の中で実際に範を示すことを含め、アクティブ・ラーニングを取り入れながら生徒の感性・創造性を刺激し育むことに留意する。 ①③④	A		授業改善に取り組みたい。
保健体育	運動の合理的な実践と、知識の定着や基礎体力の向上を図る。	ICT 機器・ワークシートを活用することで、運動に対する知識を深め、運動に対する意識を高める。 ①③⑧	B	A	○個に応じて与えた課題のレベルが適切であったかを検証し、次年度につなげる。 ○ICT を活用し、ワークシートなどの活動の記録を行っていききたい。
		体づくり運動やスキルテストを実施し、技能と基礎体力の向上を図る。 ④⑨	A		
	集合・整列・礼法など基礎的態度の定着を図る。	日々の授業において、自主的に実践できる態度を育てる。 ⑥⑧	B		
	コミュニケーション力・表現力の向上を図る。	グループワークを実践し、お互いに教え合ったり、主体的な活動を促したりする活動を行う。 ⑧⑨	A		
		ワークシートを活用し、疑問、方法、成果等を表現する。 ①⑧	A		
	授業改善を行うことで、保健体育に対する意欲を高め、心身共に健康な態度を育む。	個々の課題を明確にし、個に応じた指導を行う。 ①③⑧	B		
わかりやすく楽しみながら運動に取り組み、生涯に渡り運動に親しむ健康的な態度を育てる。 ①⑧		A			
技術・家庭	学習意欲を高める指導計画や題材の工夫を図る。	自立した生活に向けて、様々な技術の発達や環境とのかかわりなどに目を向け、持続可能な社会の実現を意識した授業内容を工夫する。 ①②③④⑤	B	A	○持続可能な社会の実現を意識した授業づくりやデジタル教材の効果的な利用に努めていきたい。
		実験や実習などの体験的学習を通し、知識・技術の習得を確認するとともに、思考力・判断力・表現力を育てる授業を展開する。 ①②③	A		
	課題解決型学習の充実を図る。	基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るとともに、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れ、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。 ①②③⑤	A		
		ICT 機器を活用し、グループ学習など主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を展開する。 ①③⑤	B		
	授業改善を行い、技術・家庭科の基礎的・基本的な知識及び技能などの育成を目指す。	主体的・対話的で深い学びの実現のため、多様な学習活動を組み合わせて授業を組み立て、物事を捉える見方・考え方を学びの過程の中で働かせ、より質の高い深い学びにつなげる。 ①②③⑤⑩	A		
英語	4 技能をバランスよく育成する授業を工夫する。	授業内の帯活動を活用し、アウトプットを意識したインプット活動を行い、論理的に表現するために必要な思考力の育成を図る。 ①②	A	A	○4 技能のバランスの取れた育成を目指し、リーディングやリスニングだけでなくスピーキングやライティングといったアウトプット型能力の育成につながる言語活動の機会を数多く設けることができた。次年度はスピーキング力およびライティング力のさらなる伸長を図るべく指導をより体系化し、生徒が既習の知識・技能を生かして自分の考
	英語発信力の育成を図る。	英語でのプレゼンテーション活動に向けたスピーキングやライティングの段階的指導を体系立てて行う。 ①②	A		
		自分の考えを表現する活動やそれを評価するパフォーマンステストなどを計画的に行い、事後のフィードバックを通して表現力を深める。 ①②④	A		
	探究的思考力と学習意欲の向上を図る。	生徒の興味関心を高める探究的な問いを工夫し、他と協働し、自己の考えを深められる授業を実践する。 ①②⑤⑨	A		
		ICT 機器を活用した授業の研究、実践を行い、生徒の理解を深め、表現力を広げる指導法の在り方を検討する。 ③	A		
	学習評価を基に授業の改善・充実を図る。	生徒の学習評価の場面や方法を工夫しながら、学習の過程や成果を評価した結果を基に生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。 ⑩	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

						えをより豊かに表現できるような言語活動の機会を創出したい。
教 務	授業改善を推進し、探究的な学びと個別最適な学習の充実を図る。	授業の管理を徹底し、学年や教科、校務部との協力・連携を図りながら、授業時間の確保に努める。①～⑤	A	A	○生徒ひとりひとりに応じた多様な学びができるよう、個別最適な学習の充実に向けた指導のあり方やICT機器の活用等について、継続して研究、研修に取り組んでいく必要がある。 ○生徒のさらなる学力向上に向けて、学習指導に係るRPDCAサイクルを確立し、授業改善を推進していきたい。	
		授業改善プロジェクトやICT支援員を有効活用することで、課題解決型授業の改善や個別最適な学習指導方法の改善を推進する。①～⑤⑳㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	B			
		生徒が主体的に取り組む課題解決型授業の実践に向けて、研修会や相互授業参観、各種アンケートをもとに、RPDCAサイクルによる授業改善を推進する。①～⑤⑳㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	B			
	指導と評価の一体化を図る。	各教科と連携して校内研修を行い、生徒一人一人の自己実現を図る教科の工夫について検討、改善を進め、学習評価の充実を図る。④㉑㉒	A			
	校内諸データの整理とICTの活用を進める。	学校全体に関わる統計データの収集・管理を的確に行う。⑳㉑	A			
		ICT支援員を有効活用し、生徒1人1台端末を活用した協働的・探究的な学びを実践するための校内研修を計画的に行う。①③⑤㉑	B			
会議資料や情報共有等についてICTを積極的に活用し、校内情報化を推進する。㉒㉓		A				
生徒支援	基本的な生活習慣を確立する。	登校指導及び巡回指導を通して校則遵守(特に服装)及び挨拶の励行を徹底させる。⑥	A	A	○人間関係の構築が苦手な生徒がいた。よりアンテナを張り、SOSを素早くキャッチし、対応していきたい。 ○挨拶の大切さのように伝えていくかが課題である。 ○教員間で情報を共有し、学校・学年全体で生徒と関わることができた。次年度も継続していきたい。	
		生徒が自ら考え、行動し、振り返ることで各自の生活における自己調整力を育成できるような指導を全職員で協働し実施する。①③⑥⑩⑪⑫	A			
	心の教育(規範意識とモラルの向上)を推進する。	マナーアップ運動や外部講師による講話等を通じて規範意識の向上を呼びかける。⑥	A			
		他者を尊重する気持ちを行動面で示すことができるような非認知能力の涵養を図る指導を、道徳や各教科の授業等学校生活のさまざまな場面で全職員が協働し展開する。⑨⑫⑬⑭⑰	A			
		いじめの未然防止を図るべく、級監および授業担当者を中心に生徒たちの様子を観察し、適宜面談等で生徒とふれあう時間を持つだけでなく、スクールカウンセラーの活用も勧めることで生徒がSOSを出し、相談しやすい雰囲気の醸成に努める。⑥	B			
	安全教育を推進する。	道徳の授業や携帯安全教室等を通して情報モラル教育の充実を努める。⑥	A			
登校指導や巡回指導、定期的な自転車点検を通じて生徒の交通安全に対する意識の高揚につながる指導を実施する。⑥		A				
渉 外	PTA活動の充実を図る。	PTA活動の支援に努め、保護者と学校、学年との連携を図る。⑬⑱	A	A	○写真や寄稿にあたり、ICT活用による業務の簡略化を図りたい。	
		保護者のアイデアを取入れ、保護者の主体的な活動を支援する。⑱	A			
特別活動	学校行事の充実を図る	学校行事の改善充実を図り、学校行事をとおして他者理解や社会性の育成し、生徒の自主的活動を支援していく。⑫⑬⑰	A	A	○学校行事の充実を図ることはできたと考えるが、行事を通して生徒のアントレプレナーシップ精神を育成しなければならない。	
	生徒の自己指導力の育成を図る。	ホームルーム活動や学校行事、各種実行委員、部活動等への積極的な参加をとおして、強い精神力や協調性、自主自律の精神を育む等健全な心身の育成を図る。またキャリア・パスポートの活用を推進し、生徒が自ら活動を振り返り、検証する姿勢を育てる。⑭⑮⑯⑰	B			
	生徒の協働性を高める。	係活動や各種実行委員としての活動をとおして生徒の協調性を育むとともに、集団の中での当事者意識を高め、協働性を育む。⑫⑭⑰	A			

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

キャリア教育	生徒が、主体的に進路選択ができるように支援を行う。また、学校行事等をととした体験学習を推進する。	キャリア・パスポートを活用して、生徒が小中高と継続的に自分のキャリアについて見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。 ⑳㉑	A	A	○校外学習や校内セミナーだけでなく、生徒が自身の将来や職業について主体的に考えることができる機会をより体系的に設定する必要がある。
		先輩講話や学校行事、校外学習等の体験活動をととして、生徒が職業観を持って将来の生き方について主体的に考えることができるようにする。 ㉒㉓	A		
		単元テスト及び校外模試を活用して、生徒の学習状況を把握し、適切な指導、助言及び評価を行う。 ㉔㉕㉖㉗	A		
保健環境	保健管理、保健教育、健康相談を組織的に運営し、生徒の心身の健康維持・増進を図り、健全な学校生活を送れるよう支援する。	健康診断、保健調査の事前指導、実施や事後措置を計画的に推進するとともに、プライバシーや個人情報の保護に努め、適切な保健指導や保健管理を行う。 ㉘㉙㉚	A	A	○安全面では防災訓練・不審者対応避難訓練・救命講習会等の実施により非常時の安全確保に努めた。今後は施設設備等に起因する事故を防止するための定期的な安全点検を実施することで異常の有無等を早期に発見していきたい。 ○外部講師を活用した健康教育を実施したが、時間確保が困難であるため、早めに日程調整するなど考慮したい。 ○トイレの清掃・衛生状況に課題が見られるので、清掃監督者や保健環境部で協力して点検や美化に努めたい。 ○毎月、全学年対象に、時期や生徒の実態に合わせた食育指導を実施しているので、次年度は栄養職員・養護教諭で協力した授業を実施したい。
		救急体制の整備に努め、傷病者の救急処置や緊急時の対応を適切に行う。 ㉛	A		
		感染症の予防に努め、感染症発生時には罹患等の状況を迅速に把握し、適切に対応する。㉜	A		
		健康相談をととして、生徒の心身の健康問題について支援を行うとともに、関係職員と連携し適切な対応に努める。 ㉝	A		
		生徒の発達段階に応じた、外部講師を招聘する薬物乱用防止教室及び性に関する講演会、がん教育講演会を計画的に開催する。 ㉞㉟	A		
	安全で保健的な学習環境の維持と改善を図る。	清掃用具の調査・補充・管理を行うとともに、清掃指導を徹底し、学習環境の美化に努める。 ㊱	B		
		全教職員が職務の特性を生かし、学校環境衛生の日常点検や維持管理に努める。 ㊲㊳	B		
	生徒の安全を確保し、安全に対する意識を高める指導の充実に努める。	交通安全教室や自転車点検、救命講習会を実施し、自他の生命尊重を基盤とした安全能力の育成を図る。 ㊴㊵㊶	A		
		防災訓練や不審者対応避難訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルの見直しを行い、非常時の安全を確保できるようにする。 ㊷	A		
	健康的な食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食の自己管理能力を育む。	食物アレルギー対応委員会での協議や、エビペン使用を含む緊急時対応職員研修を実施することにより、食物アレルギー事故防止の徹底を図る。 ㊸	A		
衛生面に配慮し、円滑な配膳・喫食・片付けが行えるように指導する。 ㊹㊺		A			
月に1回の食に関する指導をととして、健全な食生活を営むことができる判断力の育成に努める。 ㊻㊼㊽		A			
DX	1人1台端末を用いて、個別最適化された学習支援を行う。	1人1台端末を活用し、授業内外における課題の提示や学習支援を適宜行う。 ㊾	A	A	○校務の中でICT機器を効果的に活用している教員が増えてきているが、新しいツールも出てきているので、それらも活用できるよう促していきたい。
	ICT機器を効果的に活用し、情報伝達や共有を図る。	働き方改革の視点から、ICT機器を効果的に活用し、生徒と教員間、教員同士の情報伝達や共有を図る。 ㊿	A		
探究推進	生徒の発想を大切に、主体的、創造的な学習活動を展開する。	生徒の興味・関心などを基に学習集団（ゼミ）を組織し、附属中教員全体で指導を分担し、学年や学科の枠も外して指導する。 ①②⑤	B	A	○今年度は新たな探究活動を設定し、生徒のアントレプレナーシップ育成の軸となるように努めた。
	異なる多様な他者と協働して	多様な情報や異なる視点から考えたことを基に、力を合わせたり交流したりして協働的に	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式2 (中)

	主体的に課題を解決しようとする学習活動を展開する。	学ぶといった、基本的な探究過程を確立する。 ①⑨⑳			
	生徒一人一人の興味・関心に応じた学習活動を充実させるために、外部との連携を図る。	外部の教育資源を有効に活用し、校内に外部連携を効率的・継続的に行うためのシステムを構築する。 ⑨⑳㉑	A		○課題、反省点としては、ゼミの位置付け、外部組織の導入、探究国際の実施内容、各発表会の実施時期など多岐にわたる。これらについて、検証し、適切に改善していきたい。 ○「附属中図書だより」(隔月発行)を通じて生徒の図書館利用ならびに読書活動を促進することができた。次年度も広報活動の柱として継続していきたい。 ○附属中ビブリオバトルを今年度同様全校で実施するとともに、為櫻祭ビブリオバトルをはじめ高校生を含めた異年次交流の機会をさらに創出したい。
	学校広報活動の充実に努める。	魅力あるスクールガイドを作成し、学校説明会・学校公開等で活用する。また、学校説明会や公開授業等では本校生徒の活躍の場を設け、小学生や保護者に、本校の特徴が最大限アピールできるように努める。 ⑱	A		
		学校HPを充実させることにより、本校教育活動の公開に努める。 ⑱⑲	A		
		小学校・学習塾等へ訪問や各市町村教育委員会の区分箱を通じて、広報活動を実施する。 ⑱⑲	A		
	図書委員会活動の充実に努める。	生徒会の図書委員会活動の活性化を図り、学校内外の行事などにより多く参加するような活動を企画し、実施する。 ⑦⑨⑩⑫⑬	A		
	図書館利用を促進する。	広報活動を充実させ、クラス・生徒の利用増加を図り、ビブリオバトルを実施する。 ⑤⑦⑨⑩⑫⑬⑱	A		
		図書館と蔵書(電子書籍含む)の活用率の向上を図る。 ①②③⑨	A		
		授業時や探究活動時の図書館の利用と活用拡大を各学年・各教科に働きかける。 ①③④	A		
		生徒や教職員のニーズに応えられるよう、リクエスト用紙を活用する。 ②③④	A		
	図書館の環境美化に努める。	図書館内を、落ち着いて思索する空間として利用できるよう整え、心の教育の一助とする。 ⑨⑫	A		
第1学年	「協働的・探究的な学び」の充実と主体的な学習習慣を育成する。	生徒が主体的に取り組めるよう、探究的な授業を積極的に実践していくとともに、生徒の実態に合ったホームワークの内容を精選し、学習習慣の確立を図る。 ①③⑤⑧	B	A	○生活習慣を整えながら学校生活を送ることができた。第2学年においては、この基盤を整えた上で、探究的な学びを中心とする学習習慣の確立に努めたい。
	基本的な生活習慣の確立と自立的な態度を育成する。	挨拶や生活のきまり、礼儀やマナーについてホームルーム等で適宜指導を行い、附属中生としての基礎的な生活習慣の定着を図る。 ⑥	A		
		当番活動、係活動を充実させ、生徒が主体的に取り組める学級組織を編成し、自主的な態度を育成する。 ⑦⑩⑪⑫⑬	A		
	視野を広げ、夢や目標の実現に向けて努力する態度を育成する。	キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を常に意識した学習への取り組みができるように支援する。 ⑳㉑㉒	A		
第2学年	「協働的・探究的な学び」の推進と主体的な学習習慣を育成する。	生徒が主体的に取り組めるよう、課題解決型授業を積極的に実践していくとともに、生徒の実態に即した学習習慣の確立を図る。 ①②⑧⑨⑩⑳	A	A	○学級という小集団の中で心身ともに大きく成長することができた生徒と、人間関係を構築することを苦手としている生徒が見られた。また、挨拶や生活のきまりについても適宜指導してきてはいるが、
	自主的、自立的に行動する態度の育成。	挨拶や生活のきまり、礼儀やマナーについて学級活動等で適宜指導を行い、附属中生としての基礎的な生活習慣の定着を図る。 ⑥⑩⑪	B		
		当番活動、係活動、生徒会活動を充実させ、生徒が主体的に取り組める学級組織を編成し、自主的、自立的な態度を育成する。 ⑦⑩⑫⑬⑭⑮	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式2 (中)

	夢や目標の実現に向けて努力する態度を育成する。	探究活動および探究プロジェクト関連行事、校外学習を通して、コミュニケーション力や実行力、発信力、創造力等豊かな人間性を育む。 ③⑨⑱	A		附属中生としての自覚がもてるよう、次年度は最高学年として、模範となれるような生活習慣を身に付けさせたい。
		キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を常に意識した学習への取り組みができるよう支援する。 ⑳㉑㉒	B		
第3学年	「協働的・探究的な学び」の推進と確かな学力の定着と向上を図る。	生徒が主体的に取り組めるよう、課題解決型授業を積極的に実践していくとともに、高等学校への進学を見据えて基礎学力の定着と発展学習への取組を強化する。 ①⑧⑨⑱㉒	A	A	○附属中最高学年として、多くの生徒が積極的に学習に取り組み、基本的な生活習慣や学習習慣を身につけることができたと考える。まだ課題も見られるため、学校生活を軸とした基本的な生活習慣の確立を図らなければならない。
	自主、自律、自覚の姿勢を確立し、主体的に行動する態度を育成する。	附属中生としての基礎的な生活習慣の定着を図るとともに、自ら判断し主体的に行動する態度を育成する。 ⑥⑦⑱⑲	A		
		各種実行委員等を充実させ、生徒が意欲的に取り組む機会を確保することで、自主的、自立的な態度を育成する。 ⑦⑱⑲⑳	A		
	夢や目標の実現を見据えて努力を継続する態度を育成する。	探究活動および探究プロジェクト関連行事を通して、探究心を養い、将来の進路選択に生かせるようにする。 ③⑨⑱㉒	A		
キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を常に意識した学習への取組ができるよう支援する。 ⑳㉑㉒		A			

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない